

まもなく「2010年総合生活改善の取り組み(春闘)」が始まります。

今回の「春闘」労働界では…

デフレが宣言された日本経済の内需の底割れを防ぎ、働くものの生活を守るために、「賃金カーブ維持分の確保」が焦点となりそうです。

春闘でよく聞く「賃金カーブ」とはそもそも何のこと？

職場の仲間の年齢や勤続年数はまちまちですが、みんなの賃金を年齢や勤続年数の順に並べてみます。すると、年齢や勤続年数が増えるにつれて賃金も上がっていき、ほぼ右肩上がりの曲線が描かれます。この、賃金の上昇具合を表す曲線のことを「賃金カーブ」といいます。(右上図参照)

賃金カーブは、年齢と勤続年数にともなって、仕事のスキルが上がる一方、子供の教育費なども含め生活費が上昇することに対応しているもので、一般に年功カーブともいわれています。この背景には、スキルアップと生活の変化に対応しながら、長期的な雇用関係全体を通じて賃金を支払うという日本的なスタイルがあります。働く側にとっては、安心して将来の生活設計をもつことができ、経営サイドにとっても、安定的な人材確保と企業内教育を通じた労働生産性の向上が図れるという、双方のメリットがこうした仕組みを支えてきたと考えられます。

賃金制度の整備が進んでいるところでは、定期昇給制度などにより賃金カーブを維持することがほぼ制度化されています。しかし、そうした組合は少数派です。スズキ労連内にも賃金を制度化している会社はありません。その場合、賃金カーブを維持するには、毎年の賃上げ交渉のなかでカーブ維持に必要な昇給分を確保しなければなりません。どんな賃金制度になったとしても、家族を含めた生活費を補填するだけの賃金水準は確保される必要がありますので、賃金制度の見直しの動きのなかでも、賃金カーブの意義は本能的には変わっていないのです。

どうなる？ - 2010年春闘 - 連合・経団連の動きは？

連合は12月3日、中央委員会を開催し、2010年春闘闘争方針をまとめ、すべての組合が取り組むべき課題として、定期昇給に相当する「賃金カーブ維持分」の確保を求める方針を決定しました。そのうえで各産別には産業・規模間格差や賃金体系上の歪み、賃金分布の隔たりの是正も含め、実態に合わせた賃金改善の取り組みを求めています。統一したベア要求の文言は外しました。

また、組合員ではない非正規労働者の処遇改善に各組合が取り組むことを明記し、「非正規労働者を含めた全労働者を対象に、賃金をはじめとする待遇改善に取り組む」とともに、賃金の底上げをはかるための企業内最低賃金協定の締結拡大と、水準の引き上げを盛り込んでいます。

なお、春闘で経営側の指針として毎年12月に発表されている日本経団連の経営労働政策委員会報告(経労委報告)は、経済状況の変動が激しいことから発表を来年1月に先送りされており、今回の春闘は09年春闘と同じく厳しい交渉が予想されます。

どんなことでもOK! お気軽に相談下さい。

スズキ労連 労働相談窓口

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活… 悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073

※月～金 9:00～19:00

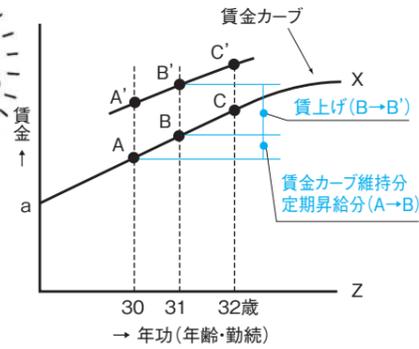
相談無料・秘密厳守

「スズキ労連」機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8063 浜松市南区小沢渡町12-1
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : mitsuda@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇ <http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙 共通パスワード… saw2007

【編集後記】6年ぶりに東京ディズニーランドへ行きました。土曜日でお天気も良かったせいか、見たこともないような激混みぶり。お目当てのアトラクションのファストパスはとっくに無くなり、並ぶと4時間待ちの状態(泣)。やっぱり行くなら平日がいいですね。ということで「クリスマスウィークデーパスポート」がお勧めです！(次長2)



賃金カーブ維持分とベアの違いは？

上図の例でみると、年齢30歳の人が31歳になり、勤続が1年増えた場合、Aの地点からBの地点に賃金が増えます。AからBへの昇給額が定期昇給額です。「賃金カーブの維持」とは、30歳の人が31歳になるとA→Bへ、31歳の人が32歳になるとB→Cへと上方向に移動することによって、a→xのカーブの水準を維持することです。その場合に必要の原資が「賃金カーブ維持分」です。

30歳の人が31歳になったときに1年先輩が31歳のときに得ていた賃金を得るのですから、これは「賃金水準の引き上げ」(ベア: ベースアップ)ではありません。生涯賃金(axzを結ぶ三角形の面積)も変わりません。ベアとは、B→B'と上のカーブに移行することです。

また、労務構成(平均年齢・平均勤続年数など)が不変なら、支払う賃金の原資も不変なので、会社は「カーブ維持分」のための新たな原資の持ち出しはありません。

スズキ労連 第60回 中央委員会開催案内



- ◇日時 2010年2月4日(木) 18:00～
- ◇場所 浜松商工会議所 マイカホール
- ◇内容 【報告承認事項】
 - ①第38期中間活動経過報告
 - ②第38期中間会計決算報告
 - ③第38期中間会計監査報告
 - ④あり方・財政検討委員会中間報告
 【議件】
 - ①2010年総合生活改善の取り組み(案)
 - ②第22回参議院議員選挙必勝アピール(案)

2009年12月 第332号

スズキ労連

2009年 12月号

静岡県浜松市南区小沢渡町12-1
電話 (053) 447-3079
スズキ関連労働組合連合会

発行人 加藤幸博
編集人 光田 玄

2009年労働諸条件改善の取り組み 各加盟組合が要求・要望書を提出 12月末の回答にむけ交渉スタート

スズキ労連加盟組合はスズキ労連の「2009年労働諸条件改善の取り組み方針」に基づき、製造・輸送部門、販売部門方針に併せた形で各単組の取り組み方針を決定し、要求・要望書を提出しました。11月18日(水)のスズキ労働組合を皮切りに製造輸送部門の多くの組合が第1回目の交渉を済ませ、会社側への趣旨説明を行いました。今後必要に応じて交渉を進め、各組合は、年内の回答引き出しに向け粘り強く交渉を行ないます。

《部品・輸送部門 組合別要求・要望項目一覧》(12月1日現在)

組合名	製造・輸送部門方針										各組合独自の取り組み方針				
	基本プラン (協定の運用についての確認)	労働協約・労使協定の締結・見直し (必要に応じ、確実に更新・締結)	労働時間短縮に向けた諸施策の展開 スタート12に基づく取り組みの実施	裁判員制度施行に向けた取り組み	時間管理に関する確認 (時間管理の適正化)	法改正への対応 職場環境の改善 社会情勢変化への対応・福利厚生充実	海外外向・出張について (規定の見直し・生活状況の確認)	(制度改定)について進捗状況確認	資格等級制度の見直しについて	通勤環境の改善について (本社⇄社員駐車場の移動軽減)	新人事処遇制度のチェック	駐車場・駐輪場の改善 (事故防止を目的とした対策)	工場内の環境改善 (寒さ・暑さ・空気循環対策)	退職金制度の見直し	
平岡ボデー		●	●		●	●									
スズキ部品浜松	●	●	●		●	●									
スズキ輸送梱包	●	●	●		●	●									
ベルソニカ		●	●		●	●	●	●	●						
スズキ精密工業	●	●	●		●	●				●					
スズキ部品秋田	●	●	●		●	●									
スニック	●	●	●	●	●	●				●	●	●			
小楠金属・熱処理	●	●	●	●	●	●									
エステック	●	●	●		●	●									
浜松パイプ	●	●	●		●	●								●	
遠州精工		●	●			○									

○は要求 ●は要望 ※スズキ部品富山は協議中

スズキ労働組合の取り組み方針



組合員の多くが改善を望む項目を要求要望として方針に盛り込みました。

- ◇要求内容
 - 働き方について(営業勤務協定の変更)

営業担当変更時の際に、お客様に対してスムーズな引継ぎの実施など業務の効率化を図るために引継ぎ期間を十分にとる。また、家族の引越し準備期間を取るために「営業勤務者へ異動発令時期の明確化」を要求する。
 - 育児短時間勤務制度の拡充について

家族と仕事の両立支援のため、短時間勤務制度の適用対象年齢の引上げを要求する。
 - 有給休暇取得について

有給休暇取得促進のため、「半日有給休暇の上限回数見直し」を要求する。
- ◇労働諸条件の労使確認・協議実施に関する要望
 - 海外の働き方について
 - 法改正への対応について
 - 60歳以降の働き方について

スズキ販売労働組合は28支部が取り組みます。

スズキ販売労働組合はスズキ労連販売部門方針に基づき、以下の統一項目を掲げて各支部ごとに取り組みます。今年結成した支部も含め28支部が取り組み、労働時間短縮、働き方の見直しを中心に交渉を進めます。

- ◇要望内容
 - 勤務管理ルールの徹底
 - 計画有給休暇の設定と取得促進
 - 家庭の日の実施(ステップアップ)
 - 法改正の対応について
 - 2010年度(4月～)カレンダー交渉
 - 協定・協約の締結・見直し
 - 各支部ごとの取り組み項目

販労の大きな課題は所定労働時間のあり方。限られた時間の中で、メリハリのある仕事をしていくことが生産性の向上に繋がり、組合員の生活や福祉の向上に寄与するという考えを反映した取り組み方針となりました。

SUZUKI スズキ販売 11月にもスズキ販売労働組合に4支部結成!

自販福岡・旭川スズキ・自販熊本・自販佐賀にスズキ販労支部が結成!

先月号でスズキ販労に4支部が誕生したニュースをお知らせいたしました。11月にも新たに4支部が誕生です。11月2日に自販福岡、12日に旭川スズキ、18日に自販熊本、20日には自販佐賀支部の結成大会を開催、新たに625人の仲間がスズキ販労に加わりました。これでスズキ販労の支部は北海道から九州までに36支部、組合員は約5,000名を数える労働組合となります。スズキグループの一体化と会社の活性化を目指すという強い信念のもと、2005年から地道に続けてきた直営販社への理解活動が、5年という歳月を経て販労の全国組織化という形で実を結ぼうとしています。スズキ販労ではさらに仲間の輪が広がるべく活動を進めてまいります。年内にもう一支部、結成のお知らせができそうです。楽しみに!



スズキ販労 自販福岡支部
 支部結成日 : 11月2日
 支部執行委員長 : 松田 浩二
 組合員数 : 276名

自販近畿や自販東京支部と肩を並べるマンモス支部を運営する支部役員は全部で22名。みなさん、若いです!



スズキ販労 旭川スズキ支部
 支部結成日 : 11月12日
 支部執行委員長 : 小野寺 和伸
 組合員数 : 50名

北は稚内までの道北地区を Territoryとする旭川スズキ。厳しい寒さに負けない「熱い」活動を期待しております!



スズキ販労 自販熊本支部
 支部結成日 : 11月18日
 支部執行委員長 : 堀川 光明
 組合員数 : 216名

結成大会会場の「レングヒル熊本」はまるでチャペルのような雰囲気。厳かな結成大会を演出してくれました。



スズキ販労 自販佐賀支部
 支部結成日 : 11月20日
 支部執行委員長 : 萩原 孝行
 組合員数 : 83名

自販佐賀支部役員のみなさん。結成大会終了後、緊張から解放されて、思わず笑顔がこぼれました。

マジックキングダムクラブ・インフォメーション

平日限定 クリスマス・ウィークデーパスポート

クリスマス・ウィークデーパスポートを今年も販売いたします。購入申込書に必要事項をご記入のうえ販売窓口にお持ちください。ご家族の皆様でご利用いただき、ディズニーならではの素敵なクリスマスをお楽しみください。

対象パーク 東京ディズニーランド、または 東京ディズニーシー

ご利用期間 2009年11/10(金)～12/25(金)の平日 ※土曜日・日曜日・祝日はご利用できません。 購入申込書が必要です

大人(16歳以上)	¥5,400	¥4,800
中人(12～17歳)	¥4,600	¥4,300
小人(4～11歳)	¥3,700	¥3,400

上記詳細や申込書のダウンロードは「マジックキングダムニュース」11・12月号で!
 「マジックキングダムニュース」はスズキ販労ホームページ 福利厚生ページから閲覧できます。

スズキ販労ホームページURL...<http://saw.gogo.tc/>
 検索サイトから **スズキ販労** で検索 パスワード:saw2007

政策・制度課題改善の取り組み

スズキ労連政策制度討論集会&加盟単組役員研修会を開催。

政権与党を支える立場から、厳しい環境下での政策制度課題について認識を深めました。



約80名が参加した今年の討論集会。分科会に分かれて課題認識の共有化を図りました。

11月21日(土)、浜松駅ビルメイワン4Fにある「TKP浜松カンファレンスステーション」にて第38期政策制度討論集会&加盟単組役員研修会を開催いたしました。政策制度討論集会は2年に一度開催され、労使の協議では解決できない、法、税制、社会保障といった諸課題について学び、将来にわたる公平公正な政策制度を考え、上部団体と連携して国などに提言していくために実施しています。今回は加盟単組の三役を中心に約80名が参加。自動車総連より3名の講師を招き、自動車産業に密接に関わる課題について3つのテーマごとの分科会に分かれ真剣な論議が交わされました。

今回のテーマは、「グローバル産業としての国内産業基盤の強化について」「社会的セーフティネット確立に向けた取り組みと自動車産業における雇用のあり方」「安心・信頼のできる年金・医療制度の確立について」の3つでした。

どのテーマも身近でありながら難しい課題が多く、論点も多数あるため、各分科会とも限られた時間の中で方向性を見出すことは難しい様子でしたが、事前勉強、講師の方のポイントを絞った説明によりテーマごとの課題に対する認識を一様に深めることができました。

午後からは、加盟単組役員研修会へと切り替え、国土交通省政務官の藤本祐司参議院議員を招きご講演を賜りました。「政権交代から見えてきた事」をテーマに政治主導への政治への転換について、「政府」の立場になってもまったくブレない熱い思いをお話していただきました。なにかと話題の国土交通省の政務官ということもあって参加者からは、時間いっぱいまで質問や要望の声が上がり、大変有意義な講演会となりました。



総連からは3名の講師にお越しいただきました。(左から本田部長、春田部長、杉浦部長) 藤本祐司参議院議員。最近では事業仕分けでも大活躍でした。

外国人集住都市会議

スズキ労連 組織内議員「田口 章」は考える。

今年の開催は群馬県太田市。私は2年前の美濃加茂市での開催に続いて参加しました。ここは自動車メーカーの富士重工業を始めものづくりの盛んな地域です。会場には会員28市町の代表者他、400人ほどが詰めかけ、「言葉の壁」、「雇用対策」、「教育」、「社会保障」等々、待ったなしの諸課題について議論を交わしました。首長の現場の声を聞きつつも、一方で、法をタテにした政府関係者のあいかわらぬ「言い訳」にはあきれてしまいました。浜松市の鈴木康友市長は「緊急提言」の中で移民政策を含めた外国人受入方針の策定や、「外国人庁」の設置、外国人の子どもの就学義務化などを訴えました。とりわけ「教育の義務化」については、私も6月議会で同趣旨の質問を行いました。定住化が進む中、「生きる力」を身につけるのは、日本人の子どもも外国人の子どもも同じです。子どもに罪はありません。外国人学校を含め、タテ割り省庁の谷間になってしまっている外国人の子どもたちへの速やかな教育体制の充実を望みます。緊急提言を受けとった民主党の細野豪志副幹事長は、「重たい提言。政府与党として考えてもいい時期」と述べました(写真)。民主党の掲げる「政治主導」に期待したいところです。



「おもしろきこともなき世をおもしろく」
 「今より早いときははないがモットーです。」
 浜松市議会議員 田口 章

浜松市議会議員「田口 章」です。民間企業23年間のサラリーマンの視点で、企業人として、生活者として、10年、20年後の浜松のために、身近な政治改革にチャレンジします。

田口章の「創ろう! 元気な浜松」

http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/

労連HPからもアクセスできます。

浜松市政から身近な政治問題、プライベート(?)まで田口が気にしていること、考えていることがよくわかります。コメントも書き込めますので、皆さんのご意見をどしどしお寄せ下さい!

※「後援会だより」「メールマガジン」のバックナンバーも閲覧できるようになりました。